

津波ハザードマップ

命を守るためのマップ

地震！



まず低く



頭を守り

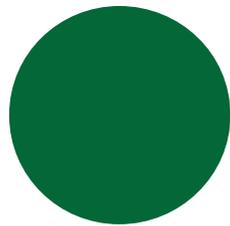


動かない

津波！



高いところへ避難！



1. 津波ハザードマップについて

はじめに

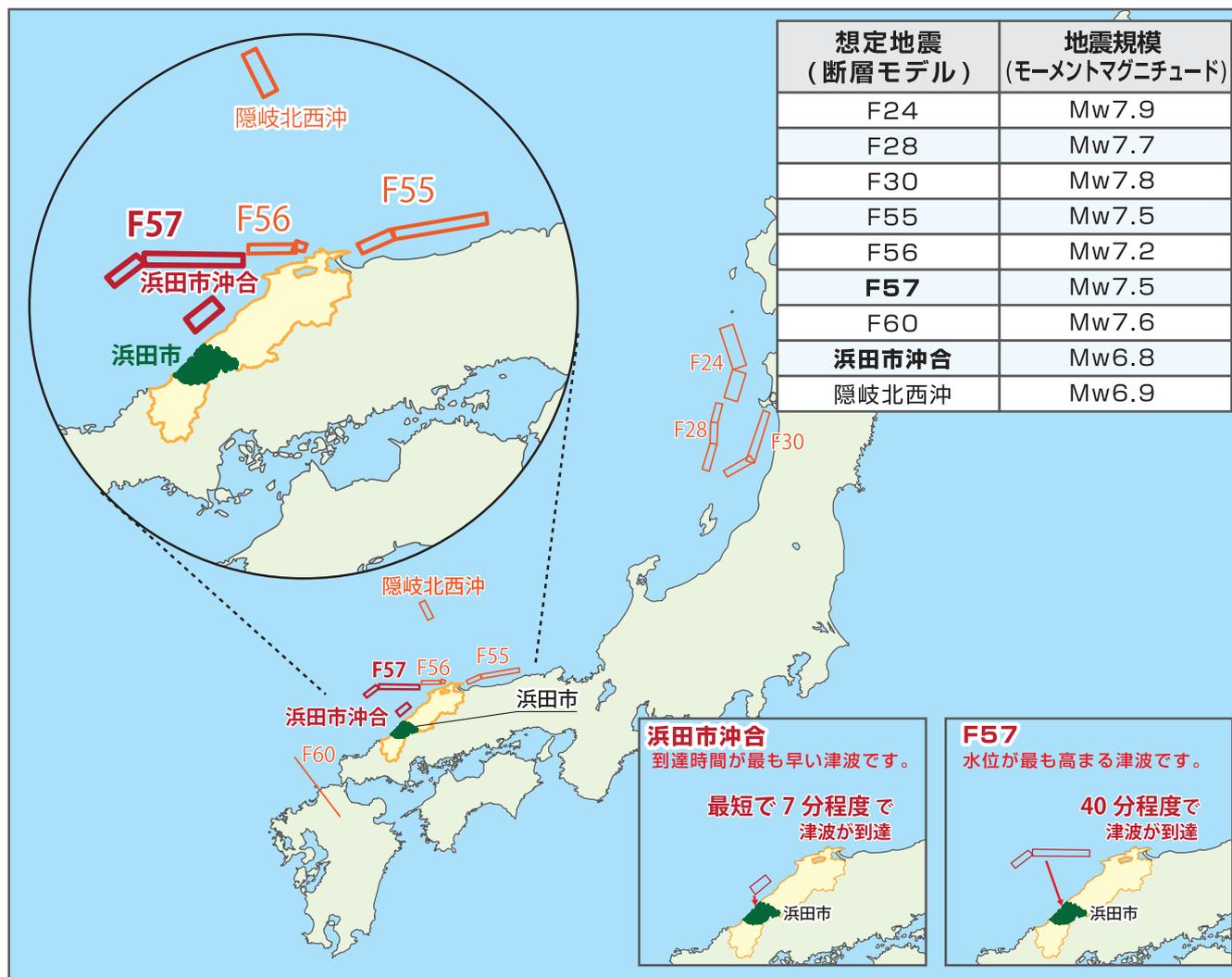
この津波ハザードマップは、日本海で大規模地震が起きて最大クラスの津波が発生した場合に予想される、浸水の区域と浸水の深さを表示したものです。これらの表示は、シミュレーションによるもので、想定を超える地震の規模や潮位等によっては、表示以外の場所でも浸水するおそれや、表示以上の浸水の深さとなるおそれがありますので注意してください。

日頃から家族や地域でこのマップを確認し、避難場所や避難ルートなどについて考え、実際に津波が発生した際の避難に役立ててください。

1-1. 想定される津波の震源域

島根県は、平成29年3月に、次の9つの想定地震による津波シミュレーションを実施し、科学的知見を踏まえ、あらゆる可能性を考慮した「最大クラスの津波(L2津波)」が悪条件下を前提に発生したときの津波の高さ、到達時間、浸水深、津波浸水想定区域を作成しました。

この津波ハザードマップは、県のシミュレーション結果を基に作成しています。



【注意していただきたい事項】

- この津波ハザードマップは、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に設定したのですが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水の深さは、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水の深さがさらに大きくなったりする場合があります。
- 浸水域や浸水の深さは、津波の第一波ではなく、遅れて来襲する第二波以降に最大となる場所もあります。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

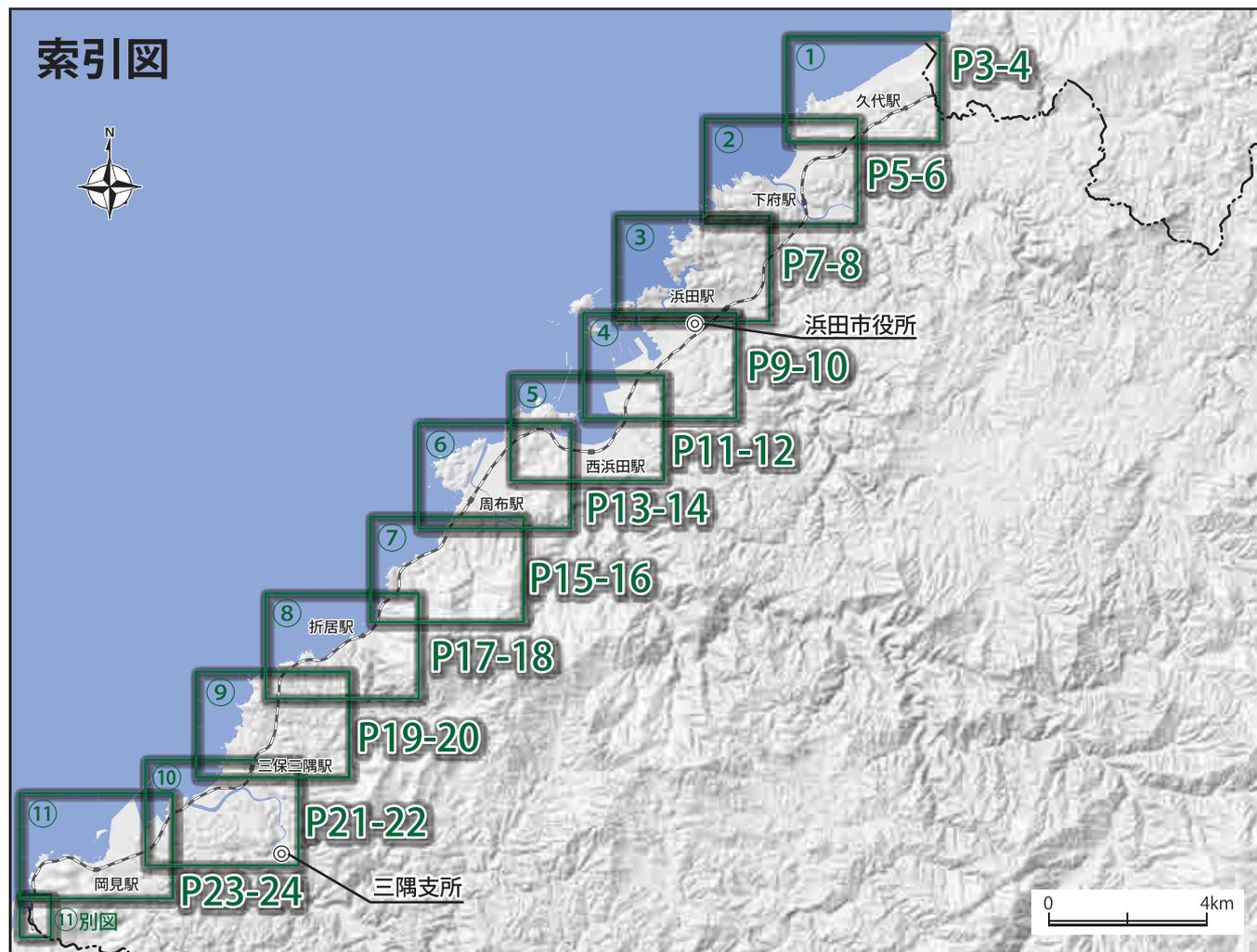


1-2. 目次

津波ハザードマップについて	はじめに	1
	1-1. 想定される津波の震源域	1
	1-2. 目次	2
	1-3. 津波ハザードマップの見方	2
	1-4. 津波ハザードマップ	3～24
避難に備える	2-1. 津波の被害を知る	25
	2-2. 地震・津波の防災情報を知る	26
	2-3. 津波から命を守る行動を知る	27
	2-4. マイ避難マップを作成しましょう	29
	2-5. 家具の転倒・落下防止をしましょう	30
	2-6. 市の取り組み	30
	わが家の避難方針 / わが家の緊急連絡先 / 非常持出品・非常備蓄品 / 災害用伝言ダイヤル「171」、web171 を覚えておきましょう！	裏表紙

1-3. 津波ハザードマップの見方

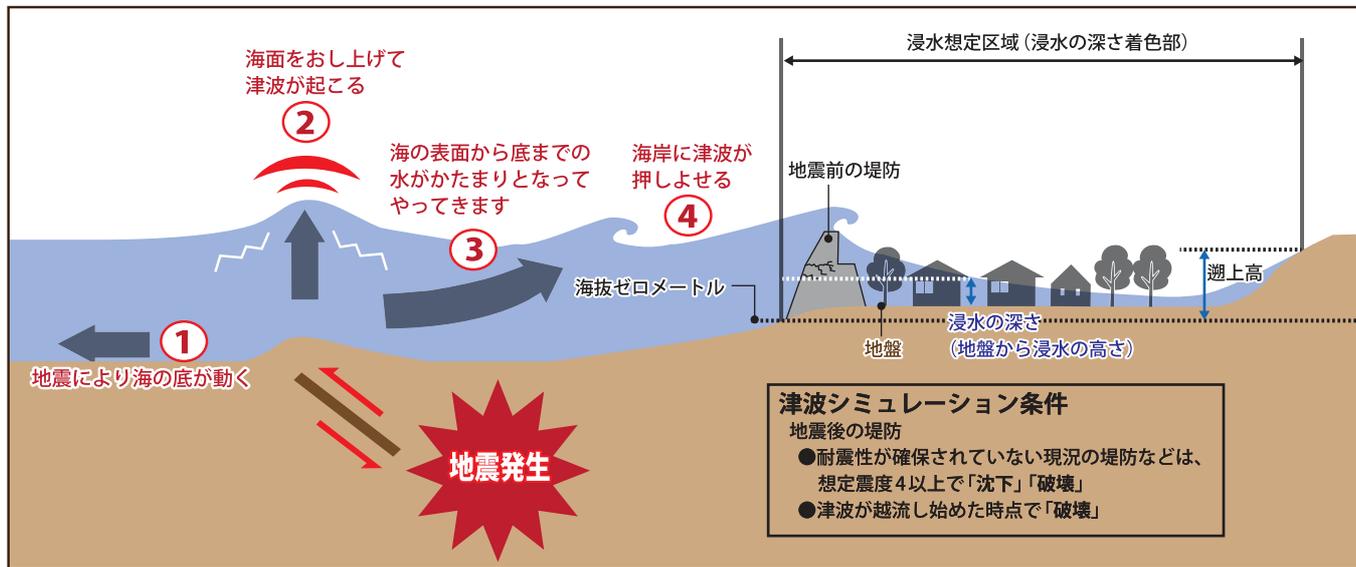
次の地図で、地域や自宅近辺など記載されているページを確認し、各ページを見て浸水の深さなどの情報や避難所などをチェックしましょう。



2-1. 津波の被害を知る

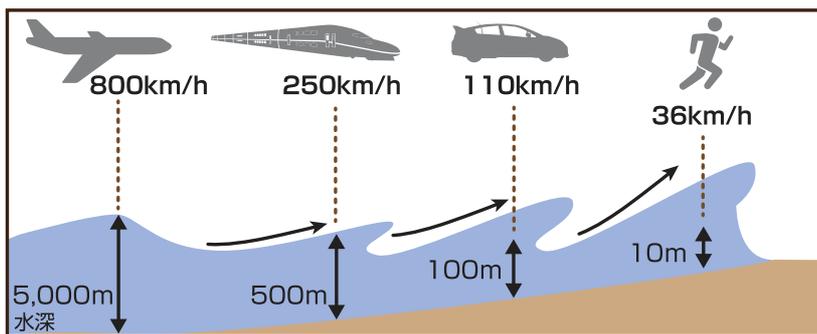
津波の発生

地震により、海の底が動いて、その上の水を押上げることで津波が起こります。



津波の伝わり方

津波は、水深が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。陸地に近づき水深が浅くなると高くなり、速度は遅くなりますが、水深10mの位置でも短距離ランナーの全速力並のスピードがあります。



東日本大震災の津波被害

三陸沖を震源に巨大地震が発生しました。東日本の各地で大きな揺れを観測するとともに、海岸線に壁となって押し寄せた津波により多くの人命が失われ、東日本をはじめ、日本各地に甚大な被害をもたらしました。

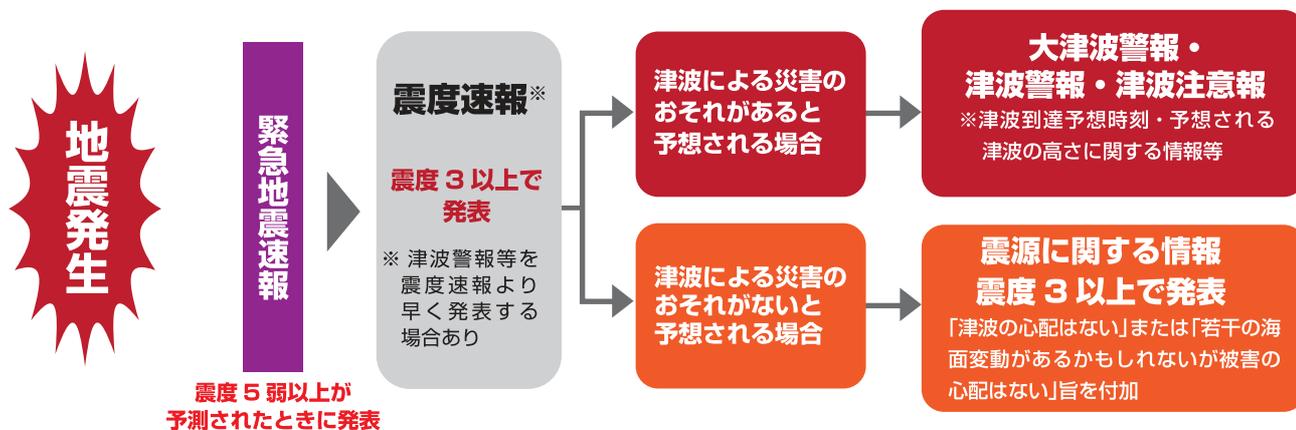




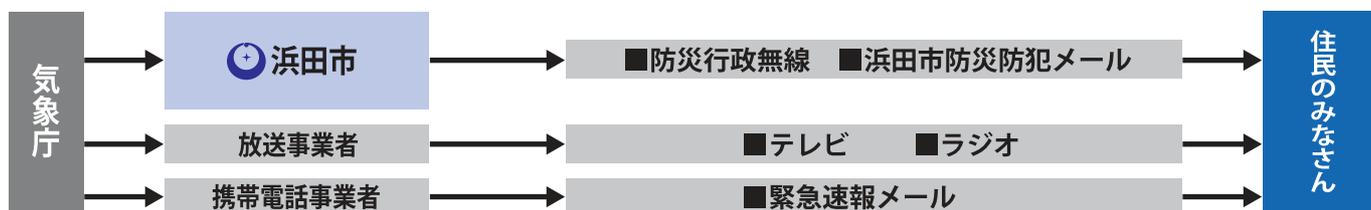
2-2. 地震・津波の防災情報を知る

■ 地震及び津波に関する情報

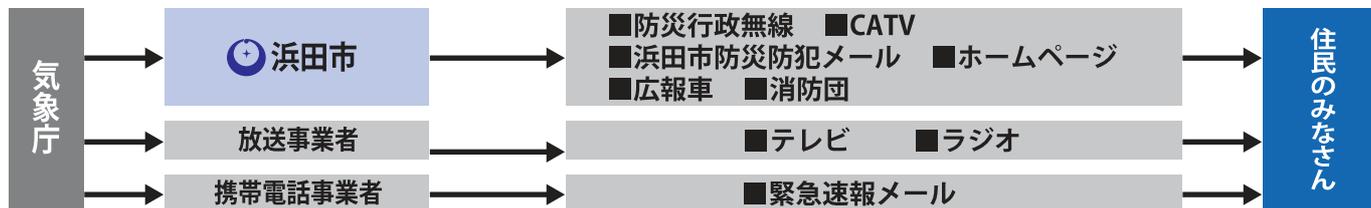
地震が発生した場合、気象庁より約1分半後を目安に震度速報が発表されます。また、津波による災害の発生が予想される場合には、約3分後を目安に津波警報等が発表されます。



■ 緊急地震速報の伝達経路



■ 津波警報等や避難情報等の伝達経路



⚠ 災害発生時の避難情報入手における注意点

地震発生時に、防災行政無線などの音声が届かない場合があります。
 電話で防災行政無線の放送内容を確認できます。(下の『情報の入手先』をご覧ください。)
 揺れを感じたら身の安全を確保し、テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集に心がけましょう。

■ 情報の入手先

✉	浜田市防災防犯メール 気象情報、防災危機情報、防犯交通情報	hamada@xpressmail.jp	QRコード	気象情報や災害・避難情報等について、浜田市、島根県が配信するメール配信サービスです。事前に登録手続きが必要です。こちらのメールアドレスに空メールを送信するか、詳しくはお問い合わせください。
	しまね防災メール 島根県内における防災・気象情報(気象注意報、警報等)	bousai-shimane@xpressmail.jp		
	緊急速報メール(エリアメール)	市内に滞在する人の携帯電話に自動的に情報が配信されます。		
PC	浜田市ホームページ http://www.city.hamada.shimane.jp	📢	防災行政無線自動電話応答サービス 防災行政無線の放送内容を確認することのできるサービスです。24時間以内の放送であれば何度でも確認できます。 ダイヤル 0120-058-521 (全市一斉放送および浜田自治区への放送が対象) ダイヤル 48-2127 (弥栄自治区への放送が対象)	
	気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/			

2-3. 津波から命を守る行動を知る

津波ハザードマップで自宅や家族に関係する場所の浸水の深さ（津波による最大の深さ）を確認しましょう。また、

地震発生!

緊急地震速報



立ってられない揺れ

▶身の安全を確保する!



まず低く



頭を守り



動かない

- 倒れてくる家具や落下物に注意する
- ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておく
- 車にいた場合は、道路の左端に寄せる

地震から

落ち着いて状況を把握

1~2分

情報収集する

強い揺れがおさまったら・・・

▶情報を収集する!

津波・大津波警報の有無を確認

津波情報

避難情報



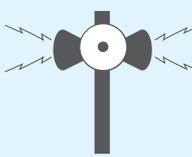



緊急情報
津波警報、注意報









緊急地震速報

緊急地震速報は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に発表され、テレビやラジオなどで放送されるほか、緊急速報メールなどでも情報入手できます。







津波による災害の発生が予想される場合には、約3分後を目安に大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。

● 発表される津波警報、注意報

	予想される津波の高さ (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	取るべき行動
大津波警報	10m超 (10m~)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波警報等が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。
	10m (5m~10m)		
	5m (3m~5m)		
津波警報	3m (1m~3m)	高い	
津波注意報	1m (20cm~1m)	—	

2. 避難に備える

27



地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難しましょう。

津波発生 注意報、警報が発表、市から避難指示(緊急)が発令されたらすぐ避難!

▶津波の危険がある区域 (津波浸水想定区域の中にいる方)

水平避難(基本)

津波浸水想定区域の外へ移動より早く、高い所へ避難



逃げ遅れたら

垂直避難(緊急)

近くの丈夫な建物の3階以上へ避難
建物に入る前に、安全かどうかを確認する



● 海岸や河川に近づかない!



● 車で避難しない!



鍵は付けたままで避難する

▶津波の危険がない区域

余震や火災から避難する!

出火防止対策をする。

ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切って避難する。

消火・救出活動をする。

隣近所で協力し合い、消火や救出を行う。また、あわせて消防署などに通報する。

壊れた家には入らない。

余震に注意して近くの公園やグラウンドへ

公園
グラウンド



浸水区域には近づかないようにしましょう。

津波到達

はじめの到達から少なくとも5～6時間、津波は何度も押し寄せます

※同規模地震の連続発生に警戒!

気象庁

津波警報等の解除

浜田市

避難指示(緊急)の解除

地域や自宅付近の安全を確認

地震、津波の危険がなくなったら

▶自宅が被災して帰宅できない場合

避難所や知人宅などへ



指定避難所

避難所での生活について

集団生活のルールを守り、助け合いの心を持ちましょう。

- プライバシーを守りましょう
- 要配慮者へは思いやりの心で接しましょう
- 環境の変化による体調不良に注意しましょう

▶自宅に被害がない場合

帰宅経路の安全を確認の上、帰宅する



2-4. マイ避難マップを作成しましょう

■ Step 1. 津波ハザードマップで、避難経路を確認しましょう

- ① 津波ハザードマップで、あなたの家を確認しましょう。
- ② 自宅周辺で予測される被害の有無、程度を確認しましょう。
- ③ 目標となる避難場所を確認し、あなたの家から安全に避難できるコースを考えましょう。



■ Step 2. 実際に避難経路を歩いてみましょう

- ④ 家族で避難先までのコースを歩いてみましょう。
- ⑤ コースの途中で危険な場所があればチェックし、安全で避難しやすい経路を調べ、所要時間を確認しましょう。



※ 避難経路はなるべく複数決めておきましょう。

避難ルートチェックポイント

- 家族や自治会でどこへ避難すべきか？
- ブロック塀、電柱、樹木など倒れるおそれがあるか？
- 川や水路、がけなど危険な箇所はあるか？
- 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか？
- 自宅から避難先までの時間はどの程度か？
- その他

■ Step 3. わが家の避難マップを作りましょう

- ⑥ 記入例を参考に避難ルートを歩いたら結果を避難マップにまとめ、わが家の避難マップを作りましょう。また、地図をまとめる際には、本冊子のハザードマップをコピーして活用したり、用紙に地図を描いて作成するなどし、避難に役立てましょう。

- 危険な場所には「×」を、注意が必要な場所には「△」を付けましょう。
- 安全な場所までの所要時間を避難者に応じて記入しましょう。
また、付せんなどで、コメントを書き入れて分かりやすくしましょう。



わが家の避難マップ作成例

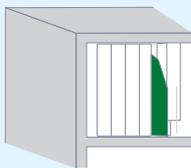




2-5. 家具の転倒・落下防止をしましょう

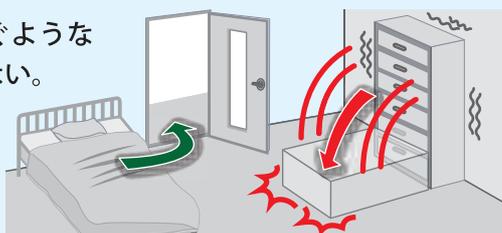
収納を工夫

- 重い物は下に、軽い物は上に収納する。
- 本棚などは、隙間があればブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らない



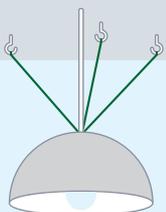
置き方を工夫

- 家具は、就寝場所に倒れてこないように配置する。
- 扉をふさぐような配置をしない。



照明器具の補強

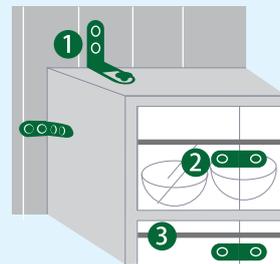
- 天井に直接取り付けるタイプの照明が安全です。
- 釣り下げ式のもの、鎖と金具を使って、数か所留め、補強する。



耐震金具の利用

●転倒防止金具

- ①壁・鴨居などに固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって選びましょう。

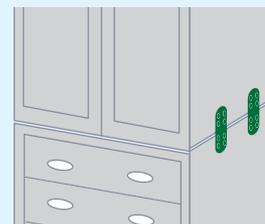


●開放防止金具

- ②扉や引き出しが開かないように金具を付ける。
- ③食器などの落下を防止するために棚板に滑り止めを敷いたり、木やアルミの棒で枠を付ける。

●重ね留め用金具

重ねた上下の家具を金具で固定し、上の家具の落下を防ぐ。



木造住宅の耐震化を支援

浜田市では「浜田市建築物耐震改修促進計画」に基づき、地震等による木造住宅の倒壊を防止し、その安全性の向上を図るために、『耐震診断』や『耐震改修』などを行う民間住宅の所有者に対して、その事業に要する費用の一部を補助する制度を設けています。詳しくは浜田市ホームページをご確認ください。

浜田市 木造住宅の耐震化

検索

2-6. 市の取り組み

防災出前講座

市民の皆さんの防災への理解と関心を深めることを目的として防災出前講座を実施しています。



海拔表示板の設置

日頃から津波に対する警戒のため、沿岸部を中心に海拔概ね10m以下の地域に設置しています。



避難行動要支援者名簿の作成

災害が起きた時に支援が必要となる人の避難行動要支援者名簿を作成しています。この名簿は、平常時の見守り活動や、災害時における安否確認や避難支援をしていくために、名簿掲載者本人の同意を得た上で、地域の自主防災組織などに提供しています。

浜田市地域づくり振興事業補助金

浜田市では、自主防災組織が防災資機材などの整備や防災訓練を行う場合に補助金を交付しています。

〔補助金の対象経費の例〕

- ヘルメットや消火器、AEDなどの防災資機材の購入費
- 防災に関する研修会や避難訓練などの費用

わが家の避難方針

災害はいつ何時発生するか分かりません。外にいるときなど家族と離れていても、全員が無事できるように災害時の行動について話し合っておきましょう。

わが家の避難所・集合場所

わが家の緊急連絡先

名 前	緊急連絡先	名 前	緊急連絡先

非常持出品・非常備蓄品

非常持出品（避難所まで無理なく持って歩ける量を準備しましょう）

懐中電灯 電池 携帯電話 携帯ラジオ



飲料水



非常食



タオル



衣類・下着類



救急セット 常備薬



ローソク・ライター ロープ・杖



現金・貴重品



非常備蓄品（家族が最低7日間は過ごせるように備蓄しましょう）

食料 飲料水 主食(レトルトご飯、麺、切り餅など) 主菜(レトルト食品) 栄養補助食品

その他必要なものを家庭で検討し、下の欄に書き出しておきましょう。

.....

災害用伝言ダイヤル「171」、web171 を覚えておきましょう！

災害時には一般の電話がつながりにくくなります。安否の確認などには、電話事業者の災害用伝言ダイヤルやweb171を活用しましょう。(毎月1日、15日などに体験日が用意されています。)

災害用伝言ダイヤル「171」

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

171 にダイヤルする

(案内が流れます)

録音の場合は **1**

再生の場合は **2**

(録音の案内が流れます)

(再生の案内が流れます)

(0XXXX) XX-XXXX

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を録音する

(30秒以内)

伝言を再生する

(30秒以内)

インターネット災害用伝言板 (web171)

web171 の利用方法

web171

検索

<https://www.web171.jp/>

伝言を登録する。
被災地の方などの
電話番号を入力

被災地の電話番号を市外局番から入力
携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

説明に従い、
登録/確認

※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。

■ ハザードマップはお持ちですか？

津波ハザードマップ(本書) 防災ハザードマップ(土砂災害、洪水)

浜田市 総務部 防災安全課

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地 電話番号：0855-25-9122 (直通) 2019年3月作成